

出火防止を！

溶接作業等での



近年、工事中の建築物において大規模な火災が発生し、多数の死傷者が発生しています。

【火災事例】 ① 平成30年7月 東京都多摩市 5名死亡

② 令和2年4月 韓国京畿道利川市 38名死亡（調査中）

名古屋市においても、毎年、工事中の建築物における火災が数件発生しています。

今一度、工事中的出火防止について、万全な対策を図っていただくようお願いします。

建築工事・解体工事を実施される皆様へ

工事中の建築物における火災の主な原因

【溶接・溶断】【電気作業】【放火】【たばこ】



■ 工事中の出火防止対策 ■

今すぐチェック★



火気を使用する際は周囲に可燃物を置かない



木材やウレタンフォームに火花が飛んで火災になった事例があります。

溶接・溶断作業は**不燃シート**で遮蔽&消火器等の準備



特に火花の飛散範囲は散水や不燃シートで遮蔽するなどの措置をしましょう。
※溶接・溶断作業をする際は、あらかじめ消防署へ届出をしてください。

決められた場所以外で喫煙は禁止



灰皿は金属製のものに水を入れて使用しましょう。

常に整理整頓し、施錠管理も忘れずに



放火されない環境をつくりましょう。

塗料等の危険物は必ず保管庫で保管



使用する時の持ち出しは必要最低限にしましょう。

防火管理者の選任



1階以上延べ面積1万㎡以上の建物などの大規模工事現場には、防火管理者の選任が必要です。



お問い合わせはこちらまで！
名古屋市中消防署予防課
電話番号 052-231-0119
メールアドレス 06yobo@fd.city.nagoya.lg.jp

